

北の大地から“頑固な野菜作り” (有限会社清和有機生産組合)

＜法人の概要＞

所在地：北海道河東郡音更町（圃場：幕別町忠類）

設 立：平成8年7月

資本金：300万円

売上高：7,400万円（平成27年3月）

（うち農業：4,400万円、うち農業関連事業3,300万円）

役 員：4名（うち農作業従事1名）

従業員数：11名、うち農業従事者2名

経営面積：4.8ha 営農作物：長芋

農業開始時期：23年5月



長 芋 畑

＜農業参入に至った経緯・動機＞

総合肥料メーカーである親会社が、創業以来、有機農業に取り組んできた。その中で、北海道における特別栽培農産物を専門に取り扱う子会社として、生産者の要望もあり当社が設立された。当初、農家への施肥設計の提供とともに、特別栽培野菜を中心とした農産物の集荷・選果・販売を業務としてきたが、近年生産者が栽培する長芋の連作障害が増大し、原料確保が不安定な状況になってきた為、親会社と弊社の生産技術を活用し、安定的な長芋原料確保の為に農業に参入した。

＜農業参入することを決めてから営農開始まで＞

長芋栽培に適した農地はなかなか見つからなかったが、取引先から現在の賃貸人を紹介していただき、借りることができた。

長芋は連作できないことから賃貸人の協力を得て、毎年作付け場所を変えて長芋を生産し、賃借した農地は、賃貸人が翌年作付け予定作物に適した圃場として返還している。農業生産法人化、農地取得も視野に入れ、借地内での輪作体系を確立出来る栽培体系を目指している。

＜営農開始から現在まで＞

現在は、全体の２割の農地で原種からの増殖（種芋生産）を行うとともに、残り８割で青果品生産も行っている。種芋を提供している農家は委託契約農家のみである。青果品の販売ルート（市場、仲卸、加工業者等）はまだ少なく、拡大する必要があるが、親会社の営業拠点が全国に約２０箇所あることから、その情報収集力・即応力も利用して販路を拡大しているところ。

地域から長芋栽培の元生産者を雇用し、その優れた営農技術を自社で活用するとともに、新規長芋生産農家への技術指導も行っている。

地域農家の見本となるような農産物を生産することで、低コストで安全・高品質・高収量が可能となる栽培技術を確認し、地域農家との信頼関係を醸成し連携を強化しながら栽培技術の普及を進めることにより、地域全体の増収、増益のモデル事業になるよう貢献していきたい。

＜今後の農業経営の展開方向＞

現在の農地の近隣でも農地を探しつつ、危険回避のため農地の分散も検討した中で近隣の市町村の農地も探している。親会社と弊社の連携と技術を生かし、長芋作付け可能な農地（現状長芋栽培がされていない地域）への試験栽培も検討し、販路確保・拡大・安定供給を図っていききたい。

現在は青果品生産も行っているが、今後は種芋生産に特化し、種芋と施肥設計を農家に提供し、農家で生産された良品で当社の規格に沿った長芋の仕入れ・選果を行い、委託農家の利益につながるような事業展開を目指している。

＜今後農業に参入しようとしている法人へのアドバイス＞

当社では、農業は「自分だけが良ければ良い」という考えは成り立たない世界と認識しており、地域農家と共存共栄することを目指している。参入に当たっては、地域の農家に提案出来る様な農業形態を柱とした事業展開を心がける必要がある。



選果作業



商 品